

飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会 (飛島村)

平成19年6月1日設置

令和2年6月 飛島村地域公共交通計画策定
(計画期間：令和2年6月～令和7年3月)

令和4年5月 幹線系統 確保維持計画策定等

地域公共交通に関する取組は、定期的に効果を評価し、必要に応じて改善を行うことが求められます。そのためには各協議会において自己評価を行うことが必要です。

こうした各協議会の自己評価について、有識者を交えて客観的な立場から取組の改善に向けたアドバイスをするため、中部運輸局では第三者評価委員会を平成23年度以降、毎年開催しています。

自己評価と第三者評価の両方を継続的に行うことによって、各協議会における取組みが段階的に改善していくことを目指しています。

⇒飛島村では平成26年度末にてフィーダー系は廃止されましたが、本様式での評価も継続しています。

1. 【Plan】協議会等が目指す地域公共交通の姿

■ 飛島村における公共交通に関する課題

- 飛島村には、鉄軌道がなく、H21年以前は、村内を通過する民間路線バスに対し、飛島村が欠損金補助を行い維持してきた。しかし、路線廃止の懸念や、ルート形状から一部の沿線住民しか利用できない交通空白地問題を抱えていた。
- 村内に総合病院や大型商業施設はなく、通勤通学先も村外が多いという状況から、住民ニーズは最寄りの中心市「名古屋市」等に移動できる公共交通サービスの向上が求められた。

■ 第5次総合計画における公共交通の位置づけ：目指す方向（R5～R14）

- 村内企業の従業員をはじめ、住民ニーズに応えるとともに、名二環、リニア開通等の交通環境の変化を踏まえた交通網を再編成することによって通勤通学の利便性向上を目指す。
- 既存の公共交通では補完できない、個別の住民ニーズに対応する方策を模索する。これにより、ある程度の受益者負担のもと、自由で便利な移動が可能になる範囲を拡大させることを目指す。

■ 課題解決に向けた対応→連携計画策定（H21～H26）とコミュニティバス等の運行

- 課題解消を図るため、活性化再生法に基づきH20/12に「飛島村地域公共交通総合連携計画」を策定、H21年度より実証運行を開始。
- 鉄道駅と接続する幹線系統の「蟹江線・名港線」、地域内をカバーする地域内フィーダー系統の「コミュニティバス」を運行させる。
- 総合病院への移動手段として事前予約制区域運行の「海南病院通院支援タクシー」も運行させる。
- コミュニティバスの利用者数が低迷。補助金利用もあり、大幅な見直しが必要とされる。

■ 令和2年6月 地域公共交通計画を策定 ～平成27年の交通網形成計画から見直し（変更点）～

- 将来的な公共交通ネットワークイメージを構築（次頁図）
- 計画の基本的な考え方は踏襲するものの、「将来像・基本方針」等の文言の見直しを行う。
- 蟹江線・名港線・海南病院通院支援タクシーの運行は継続。
- 福祉移動サービスの維持、自動運転サービスの検討などの施策の見直しを行う。

1.【Plan】協議会等が目指す地域公共交通の姿

■ 飛島村における地域公共交通の将来像

- 住民や来訪者の移動手段として、利便性が高く持続性のある地域公共交通サービスが提供された社会の構築を目指し、住民にとって豊かな生活が営める環境を確保する。

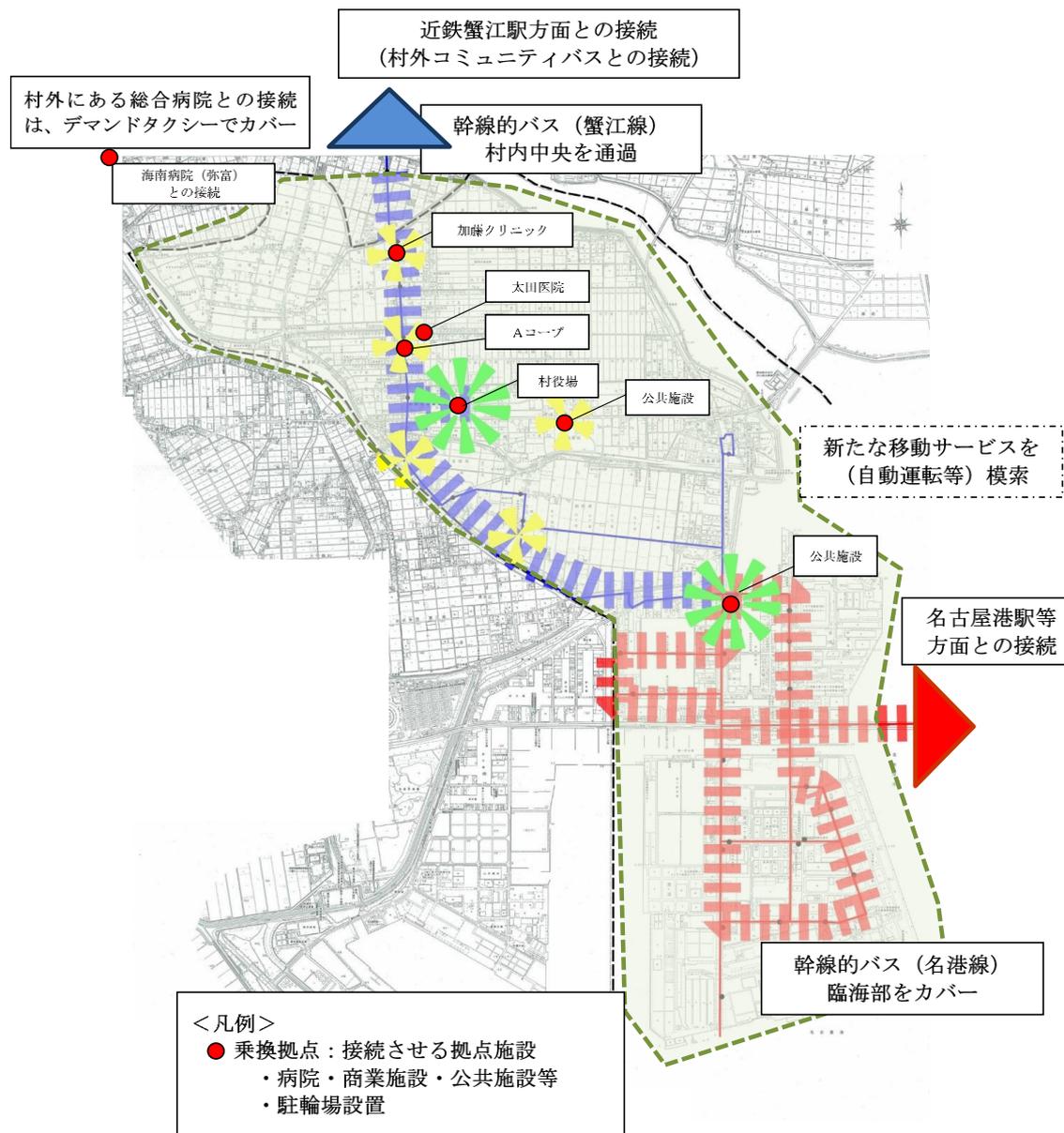
■ 基本的な方針

- 公共交通のサービスを維持する
- 住民の生活の足を確保する
- 地域まちづくりを活性化させるための基盤を確保する
- 住民・交通事業者・行政において適切な分担と相互連携により対応する

■ 計画期間

- R2/2020年度～R6/2024年度の5年間

■ 将来の公共交通ネットワークイメージ図



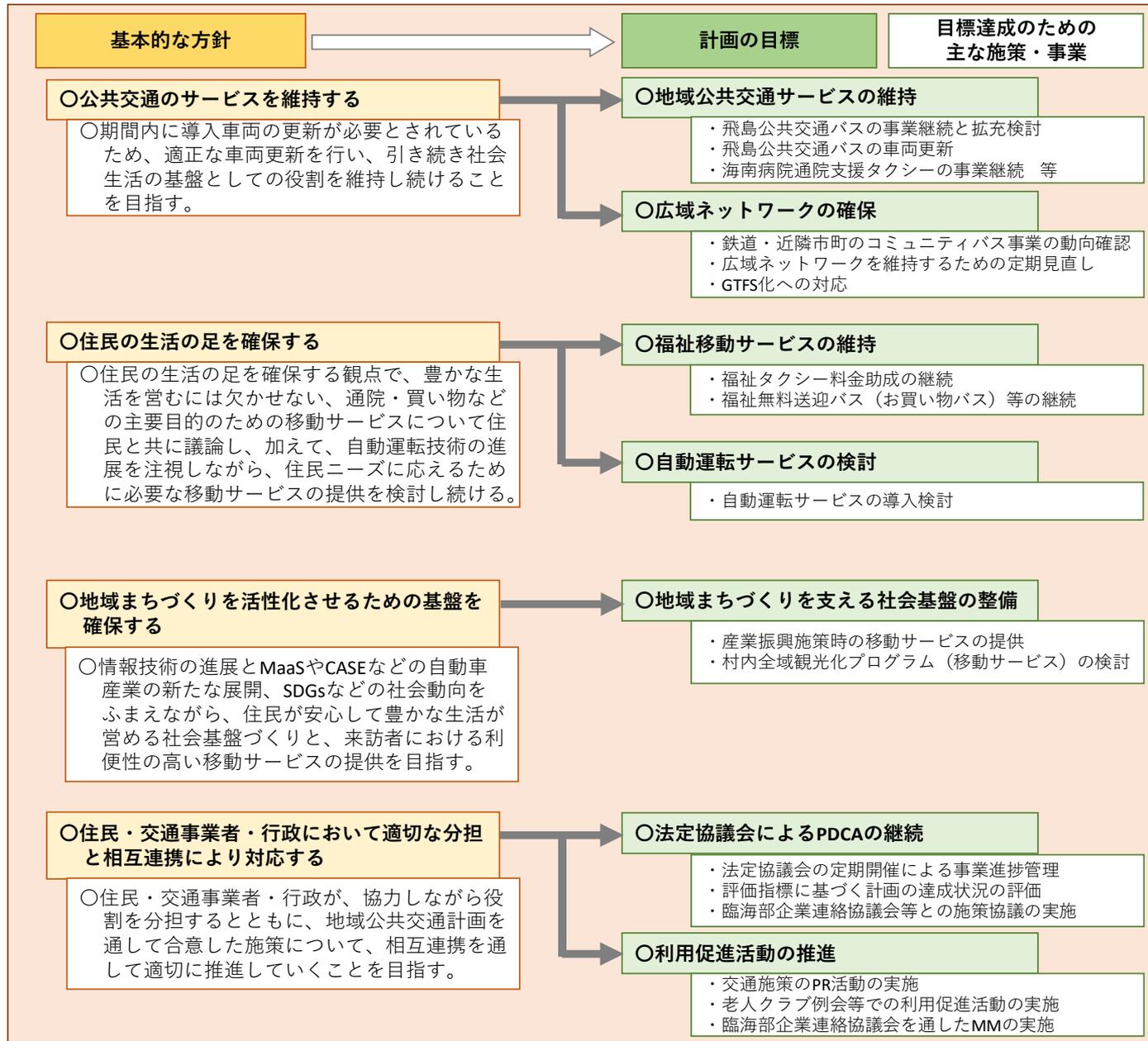
■ 計画の目標を達成するために行う事業・・・交通網形成計画で位置づけている事業

交通体系の基本フローは右図のとおり。

これまで実施してきた「蟹江線・名港線」の飛島公共交通バス事業を継続し、また、海南病院通院支援タクシーも継続実施し、交通サービスの維持を行う。

また、福祉サービスや自動運転サービスの検討について、計画に位置付ける。

さらに、まちづくり施策として、観光面での来訪者の移動サービスの検討なども追加した。



3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

視点	評価対象	評価指標と目標値	評価年度	R 4 年度末 実績	達成状況
利用者数	飛島公共交通バス (蟹江線・名港線)	<p>○蟹江線の利用者数の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の増加傾向を維持し、5年間で5%増を目指すよう、(160,000人⇒168,000人) 利用者数にて評価する ・令和4年度3月末目標値：166,000人 <p>○名港線の利用者数の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微減傾向から脱却するため過去の最大値(平成27年度:125,409人)を目指すよう、利用者数にて評価する ・令和4年度3月末目標値：122,000人 	毎年度	<p>○蟹江線 168,697人</p> <p>○名港線 107,511人</p>	<p>○蟹江線 達成</p> <p>○名港線 未達成</p>
収支状況	飛島公共交通バス	<p>○利用者数に対する財政支援額の推移</p> <p>指標＝財政支援額÷飛島バスの年間総利用者数</p> <p>目標値：558円/人(前年度＝563円)</p>	毎年度	429円/人	達成
住民意見	飛島公共交通バス ○事業の浸透度 (住民への移動サービスのカバー状況)	<p>○住民の公共交通の利用割合</p> <p>指標：住民アンケート調査における住民の公共交通の利用割合</p> <p>目標値：約40%</p> <p>現状値：38.4% (R1.9調査時点)</p>	5年度 ⇒6年度		
	飛島公共交通バス ○投資の理解度	<p>○財源の投入額に対する評価</p> <p>指標：住民アンケート調査における妥当を選択する割合</p> <p>目標値：約40%</p> <p>現状値：40.3% (R1.9調査時点)</p>	5年度 ⇒6年度		
	飛島公共交通バス (蟹江線) 海南病院通院 支援タクシー ○サービス水準の 妥当性	<p>○サービス水準の妥当性の評価</p> <p><蟹江線></p> <p>目標値：約60%</p> <p>現状値：58.9%</p> <p><海南病院支援タクシー></p> <p>目標値：約27%</p> <p>現状値：25.9% (R1.9調査時点)</p>	5年度 ⇒6年度		

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

(3) 定量評価結果について

- 令和5年度（R4.10～R5.9）の12ヶ月期間の対前年度との比較を行った。蟹江線は10.2%の増加の175,991人に、名港線は15.0%の増加の115,352人となった。
- コロナ禍の影響から脱し、蟹江線は3年連続増加に、名港線は2年連続増加している。
- 最近の月あたりの利用状況については、R5年度（R4/10～）は、対前年比全月でプラスとなっており、増加基調にある。
- ピーク時との比較では、蟹江線は過去最高値を達成している。名港線は93%（H27対比）となり、コロナ禍前の水準まで回復してきている。
- 海南病院通院支援タクシーは、前年度の753人から602人に減少（-151人・-20.1%）。最近の月あたりの利用も、対前年比でマイナスの月が半数以上あるが、通院が必要な方への支援はできている。

蟹江線
利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	前年比	R5年度	前年比
4月	7,184	8,588	8,853	8,604	9,454	9,846	11,324	12,060	12,599	12,239	13,847	7,321	13,751	14,776	7.5%	15,732	6.5%
5月	7,152	8,503	8,758	9,182	10,092	10,106	11,143	12,030	13,196	13,899	14,710	6,879	12,212	15,077	23.5%	16,612	10.2%
6月	7,863	8,751	9,484	9,426	10,077	10,363	12,231	13,038	13,435	14,077	14,131	12,218	13,792	15,563	12.8%	16,941	8.9%
7月	7,963	8,252	8,768	9,229	10,549	10,194	11,892	12,708	12,827	13,065	14,514	12,595	13,734	14,412	4.9%	15,989	10.9%
8月	6,161	7,106	7,751	8,252	8,183	7,910	9,664	11,190	11,103	11,497	12,774	9,246	10,735	11,552	7.6%	12,747	10.3%
9月	6,969	7,769	8,416	8,477	8,544	9,295	10,741	12,241	11,858	11,633	13,499	11,548	11,292	14,077	24.7%	14,730	4.6%
10月	7,520	8,125	9,082	9,287	9,538	10,154	11,576	12,876	12,033	14,690	14,240	13,731	13,715	15,257	11.2%	16,208	6.2%
11月	6,921	8,513	9,190	9,073	9,302	9,337	11,128	11,513	10,558	13,526	13,499	12,635	13,749	14,423	4.9%		
12月	7,298	7,932	8,506	8,803	8,876	9,653	10,559	11,857	12,212	12,687	13,632	12,659	13,416	14,549	8.4%		
1月	6,872	7,582	7,935	8,315	8,664	9,340	10,393	11,050	11,777	13,126	13,567	10,660	11,589	12,704	9.6%		
2月	6,833	7,373	7,881	7,947	8,567	8,865	10,072	10,141	10,650	11,714	11,905	9,980	10,035	12,723	26.8%		
3月	7,095	7,494	7,737	8,309	8,864	9,324	10,608	11,375	11,294	12,123	9,343	11,514	11,786	13,584	15.3%		
合計	85,831	95,988	102,361	104,904	110,710	114,387	131,331	142,079	143,542	154,276	159,661	130,986	149,806	168,697	12.6%	108,959	
増加率		11.8%	6.6%	2.5%	5.5%	3.3%	14.8%	8.2%	1.0%	7.5%	3.5%	-22.5%	14.4%	12.6%		-35.4%	

補助金評価	H22(21.10~)	H23(22.10~)	H24(23.10~)	H25(24.10~)	H26(25.10~)	H27(26.10~)	H28(27.10~)	H29(28.10~)	H30(29.10~)	H31(30.10~)	R2(R1.10~)	R3(R2.10~)	R4(R3.10~)	R5(R4.10~)
10-9計	91,508	99,049	103,501	108,633	111,525	123,668	137,603	143,830	144,934	161,341	135,993	146,695	159,747	175,991
増加率		8.2%	4.5%	5.0%	2.7%	10.9%	11.3%	4.5%	0.8%	11.3%	-15.7%	7.9%	8.9%	10.2%

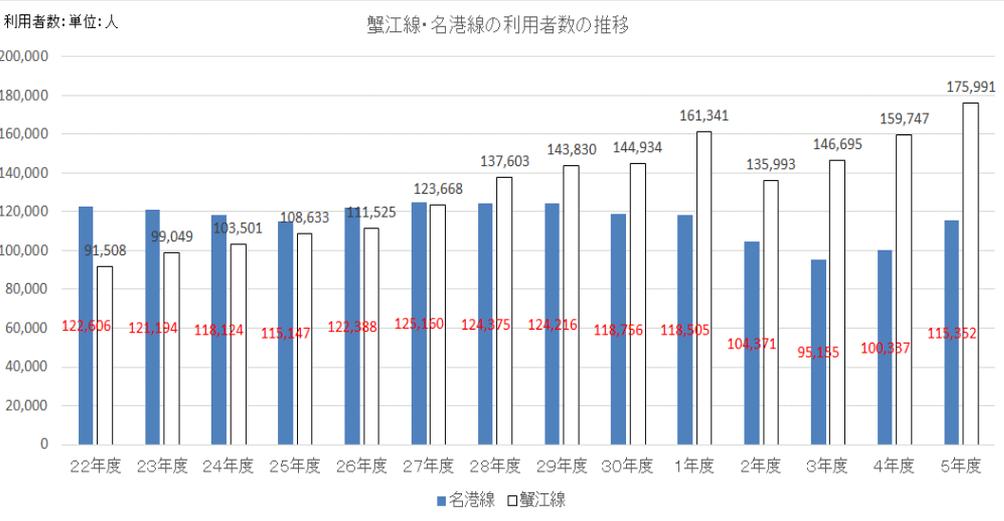
名港線
利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	前年比	R5年度	前年比
4月	10,361	11,387	10,740	10,053	10,504	10,196	11,309	10,753	10,656	9,951	10,162	7,967	8,954	8,415	-6.0%	9,743	15.8%
5月	9,544	9,753	9,471	10,025	10,099	9,946	10,188	10,310	10,653	10,731	9,520	6,245	6,797	7,659	12.7%	9,555	24.8%
6月	11,406	11,473	11,311	10,515	10,032	10,870	11,501	11,732	12,082	10,816	9,671	8,743	6,693	9,252	6.4%	10,699	15.6%
7月	10,577	11,005	10,220	10,155	10,839	11,255	11,555	10,336	10,931	10,538	10,197	8,648	8,465	9,078	7.2%	10,056	10.8%
8月	9,157	10,160	10,499	9,280	9,415	9,752	9,663	9,950	10,212	9,627	9,142	7,067	7,213	7,958	10.3%	9,647	21.2%
9月	9,370	10,347	9,641	9,006	9,623	10,815	10,116	10,217	10,205	9,206	9,769	8,341	7,540	9,316	23.6%	9,819	5.4%
10月	10,305	10,247	10,232	10,180	11,292	11,105	10,991	10,184	10,374	11,376	10,757	9,103	8,378	9,332	11.4%	10,327	10.7%
11月	9,671	10,066	10,047	9,649	10,304	9,468	10,036	10,062	9,980	10,504	9,942	8,210	8,567	9,752	13.8%		
12月	9,012	9,431	9,495	8,373	9,230	9,656	9,552	9,467	9,536	9,745	9,416	7,914	8,091	9,052	11.9%		
1月	9,066	9,177	9,886	8,349	8,670	9,499	9,383	9,395	8,708	8,870	9,049	7,022	7,541	8,525	13.0%		
2月	9,528	9,547	10,133	8,764	9,379	9,775	10,193	9,394	9,133	9,678	8,929	6,742	7,452	8,822	18.4%		
3月	10,899	10,844	10,197	9,320	9,679	11,325	10,922	10,975	10,156	9,871	9,267	8,502	8,630	10,350	19.9%		
合計	118,896	123,437	120,972	113,669	120,066	123,662	125,409	122,775	122,626	120,913	115,821	94,504	96,321	107,511	11.6%	69,846	
増加率		3.8%	-2.0%	-6.0%	5.6%	3.0%	1.4%	-2.1%	-0.1%	-1.4%	-4.2%	-18.7%	1.9%	11.6%		-35.4%	

補助金評価	H22(21.10~)	H23(22.10~)	H24(23.10~)	H25(24.10~)	H26(25.10~)	H27(26.10~)	H28(27.10~)	H29(28.10~)	H30(29.10~)	H31(30.10~)	R2(R1.10~)	R3(R2.10~)	R4(R3.10~)	R5(R4.10~)
10-9計	122,606	121,194	118,124	115,147	122,388	125,160	124,375	124,216	118,756	118,505	104,371	95,155	100,337	115,352
増加率		-1.2%	-2.5%	-2.5%	6.3%	2.3%	-0.6%	-0.1%	-4.4%	-0.2%	-11.9%	-8.8%	5.4%	15.0%

海南病院
通院支援
タクシー
利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	前年比	R5年度	前年比
4月	61	45	47	62	56	77	44	83	78	73	83	53	77	45.3%	45	-41.6%	
5月	35	49	44	50	41	37	64	83	79	48	68	35	44	25.7%	54	22.7%	
6月	54	72	43	52	50	66	52	89	84	77	78	63	66	4.8%	54	-18.2%	
7月	70	52	40	85	75	54	47	71	50	85	78	65	74	13.8%	67	-9.5%	
8月	37	59	50	84	48	49	45	89	48	79	46	51	74	45.1%	40	-45.9%	
9月	37	70	42	40	65	40	43	72	76	97	46	49	57	16.3%	45	-21.1%	
10月	50	28	39	39	44	65	47	38	71	87	84	67	57	52	-8.8%	62	19.2%
11月	20	56	46	58	45	42	42	41	105	84	67	48	50	49	-2.0%		
12月	19	38	35	58	40	56	49	46	51	74	71	62	52	61	17.3%		
1月	26	30	48	35	39	25	45	41	92	71	84	39	73	35	-52.1%		
2月	29	36	33	50	62	34	53	68	70	79	52	45	44	51	15.9%		
3月	29	46	38	52	50	51	56	85	69	64	73	81	85	49	-42.4%		
合計	173	528	586	558	653	608	615	614	945	874	890	741	677	689	1.8%	367	
増加率		205.2%	11.0%	-4.8%	17.0%	-6.9%	1.2%	-0.2%	53.9%	-7.5%	1.8%	-15.7%	-10.3%	1.8%		-46.7%	



	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
名港線	122,606	121,194	118,124	115,147	122,388	125,160	124,375	124,216	118,756	118,505	104,371	95,155	100,337	115,352
蟹江線	91,508	99,049	103,501	108,633	111,525	123,668	137,603	143,830	144,934	161,341	135,993	146,695	159,747	175,991

<自己評価から得られた課題>

- 目標達成状況（利用者数の推移）については、蟹江線・名港線ともに、対前年比増加で達成。
- 蟹江線は過去最高値を更新している。
- 名港線はピーク時の93%の水準まで回復し、コロナ禍以前の勤務状態に戻りつつある。
- 交通計画3カ年目が経過。第5次総合計画が策定され、蟹江線・名港線の利用者数による目標設定も行われた。R9年末目標に対し、R5年度で目標を達成。高い利用の伸びを示している。



<自己評価をふまえた対応方針>

【蟹江線・名港線ともに】

- 利用者のニーズや財政支援額等を総合的に勘案し、増便、ダイヤ改正のほか、名駅直行便や名港線を補完する新たな、AIオンデマンド交通の検討を行い、さらなる利便性の向上及び利用者数の増加を図る。

■参考：定性評価について（国の実施方針に基づく定性評価項目）

○広域の交通網に対する効果（鉄道等とのネットワーク）

- 補助対象路線（蟹江線・名港線）は、近鉄蟹江駅・名古屋港駅で接続させ、通勤・通学利用にも十分使えるよう、ダイヤの見直しなど継続的に対処を行っている。広域（鉄道）移動に配慮したネットワークを構築できている。

○協議会の活用状況

- 当法定協議会を定期的を開催し、6月に確保維持改善事業計画を、12月に事業評価を、3月に年間の事業進捗確認の協議を行う。

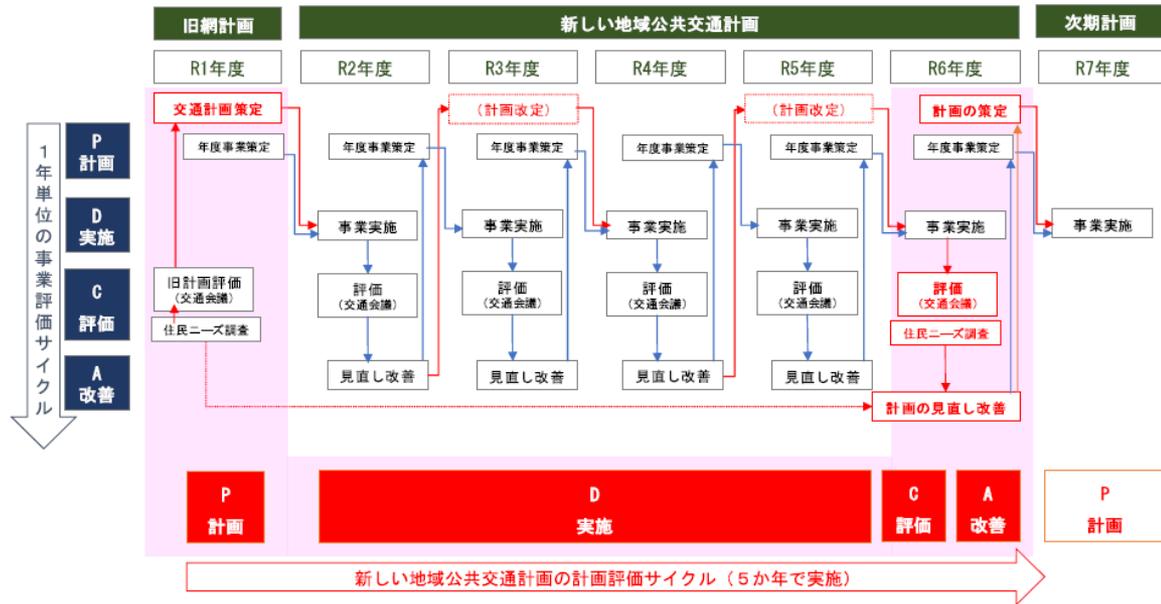
5.計画・評価の推進体制

<PDCAの進め方>

- ・地域公共交通計画の進行管理は、計画期間の5カ年を通してPDCAを行う。
- ・各年度は、地域公共交通会議において各年度事業の計画を設定し、事業の進捗状況と計画の数値目標等(利用者数・収支状況)を通して、計画の進捗を評価する。

<協議会の開催状況>

- ・年間3回のペースで開催。
- ・交通計画に基づく年度事業の協議、事業進捗を評価・確認を進めている。



回数（実施日）	進捗管理に関する協議事項	実施内容
R4/1回 集合 (R4/6/23)	<ul style="list-style-type: none"> ・確保維持改善事業計画（幹線）の協議 ・R3の法定協の事業報告・決算 ・地域公共交通計画の評価結果 	前年の事業進捗確認 交通計画の目標値に対する評価の実施
R4/2回 集合 (R4/12/22)	<ul style="list-style-type: none"> ・R4の自己評価（中部・県様式） ・蟹江線の1日無料運行協議 	R4年度の中部、県様式による事業進捗の自己評価を実施
R4/3回 集合 (R4/3/29)	<ul style="list-style-type: none"> ・R5の法定協の事業計画・予算 ・6カ月定期の設置協議 	R5年度の実施事業計画を協議
R5/1回 集合 (R5/6/22)	<ul style="list-style-type: none"> ・R4の法定協の事業報告・決算 ・地域公共交通計画の評価結果 ・蟹江線の一部ダイヤ改正 	前年の事業進捗確認 交通計画の目標値に対する評価の実施 R6生活交通計画の報告
R5/2回 書面 (R5/8)	<ul style="list-style-type: none"> ・蟹江線の一部ダイヤ改正 	1回協議事項の書面決議